

令和元年11月26日

令和2年度予算要望書

市議会公明党

令和2年度 予算要望にあたって

今世界では2030年をゴールとして、SDGs 持続可能な開発目標を共通の目標として掲げています。

これは、誰ひとり取り残さないことを目指したもので、私たち一人ひとりも世界市民の一員として、自身の取り組みとして進むべき指標です。例えば、「1.貧困をなくそう」や「5.ジェンダー平等を実現しよう」など、具体的に進めることによって、「11.住み続けられるまちづくりを」達成できることに気付かされます。

小平市においては、小平市長期総合計画の策定が本格化する当該年度に、市内の実情に即した基礎自治体ならではのさまざまな積極的施策展開によって、SDGs アジェンダ精神の横溢した希望あふれる「住み心地良いまち小平」の実現に向けて、尽力頂くよう望むものです。

また、現在の恵まれた環境を未来への財産として持続可能な社会の形成（SDGs）に資する目標値の設定も重要な点だと考えられます。さらに、全国的には経験のなかったような自然災害が発生していることを鑑みると、事前防災に基づく備えと、正確な発信を重要課題とすべきです。

市議会公明党は、日ごろ 地域で多くのご相談・ご要望を伺う中で課題整理をし、5つの重点項目と134の個別項目にまとめ、予算要望を提出いたします。

いずれも、生活に密着した視点をもって取りまとめたのもです。

市長におかれましては、10年20年先を見据えた新時代にふさわしい小平市のカタチを築くようお願い申し上げます。

市議会公明党

幹事長

津本 裕子

山岸真知子

虻川 浩

幸田 昌之

佐藤 徹

橋本 孝二

令和2年度予算要望 重点項目

1 新たな視点での総合的な公共交通体系の確立

都市型デマンド交通の実施

高齢者の外出支援策の充実で人生100年時代をとらえる

2 循環型社会形成のための3Rの実施

もったいない精神を全世代に浸透させる

食物資源循環事業の大幅な拡大

3 事前防災を踏まえた実践的な防災装備の充実

市民防災力向上のため実践的な避難訓練の充実

より細やかな視点にたった防災備蓄品の整備

4 予防を重視した健診（検診）受診率の向上策

徹底した周知・啓発

インセンティブの拡大

5 一人ひとりに丁寧に対応する人間教育の実践

教師力アップを支援する研修

次世代を見据えた英語 ITなど人材・教材の充実

安全・安心なまち 小平

- 1 公共施設の窓ガラスへの飛散防止フィルムの早期貼付と教室の非構造部材の耐震対策拡充
- 2 自動音声応答サービスのフリーダイヤル化
- 3 防災行政無線の内容を「こだいらNEWS」への連動とホームページへの掲載
- 4 家具転倒防止器具及びブレーカー遮断スイッチボールの給付と感震ブレーカーの設備補助等の実施
- 5 公共施設エレベーター内への防災備品の設置
- 6 電力会社の停電情報の防災メールマガジンへの連動化
- 7 災害時のインフラ復旧のための事業者の包括的支援と協定締結の拡充
- 8 現在まで対応されていない民間所有の危険なブロック塀の積極的撤去、改良の推進
- 9 地域の安心ステーションとしてコンビニエンスストアへのAED設置
- 10 利用者の多い市役所本庁舎6階にAEDの設置
- 11 全ての窓付き封筒の窓をセロファンから紙への変更
- 12 乳児用液体ミルクと使い捨て哺乳瓶の備蓄
- 13 防災ウーマンセミナーの実施
- 14 情報弱者の為の災害情報の伝達手段の検討
- 15 事前防災の為、被害状況に応じた段階的避難所開設の検討
- 16 避難所への非常用蓄電池の設置推進
- 17 総合防災訓練に合わせた一斉避難所開設訓練の実施

未来を育むまち 小平

- 1 子育て世代包括支援センターの愛称募集と設置場所の拡充
- 2 「義務教育就学児医療費助成制度」の所得制限の段階的撤廃と多子世帯軽減の実施
- 3 子どもの貧困の解決にむけ「こども宅食」の実施
- 4 ファミリーサポート利用料の見直しと一部助成の実施
- 5 乳幼児を連れての外出を応援する「赤ちゃん・ふらっと」の公共施設以外での普及・促進
- 6 子育て応援とうきょうパスポートの拡充
- 7 保育園 入園申込から発表までの期間短縮のためのAIなどの活用
- 8 子どもたちの読書活動を後押しするセカンドブックサービスの実施
- 9 直営のみの小学校における学童クラブの時間延長の導入を可能にするための環境整備と対象学年の拡大
- 10 児童館・子ども広場の各小学校区単位への拡充
- 11 幼稚園・保育園の給食の主食費への助成
- 12 保育料(公定価格)の代理受領払いの実施
- 13 ポジティブ ディシプリンに関する保護者向けセミナーの実施
- 14 ひきこもりネットワーク会議の開催
- 15 学校体育館へのスポット式を含めた冷暖房設備の整備
- 16 全小・中学校へのミストシャワーの設置とミスト扇風機、冷水器の導入
- 17 新鈴木遺跡資料館を地域ブランドとして建設

- 18 学校給食調理室、用務員室の冷暖房設備の整備と推進の加速化
- 19 おいしい給食を提供する給食センターの設置
- 20 特別支援教育支援員の必要とする全小・中学校への週5日配置と、中学校の知的障がい特別支援学級への通年配置
- 21 年間事業時間をカバーできるアシスタント・ランゲージ・ティーチャーの配置拡充
- 22 プログラミング教育の全校展開のための教材の配給及び教員研修の実施
- 23 アクティブラーニング、プログラミング教育、障がい児教育等に必要なタブレット端末、電子黒板の更新および 配置拡充と、故障している大型モニターテレビの更新
- 24 スクールソーシャルワーカーの小学校全校への配置と中学校の日数の拡充
- 25 いじめ、不登校、貧困等の課題に対応するためのSNS等による相談体制の構築と都制度の周知
- 26 都補助を活用し、中学校の通学路隣接危険個所への防犯カメラの設置拡充
- 27 東大和市との図書館の相互利用協定の締結推進
- 28 総合的な学習の時間を活用した「がん教育」や「防災教育」など命を守る授業の実施
- 29 中学校での放課後カフェの実施
- 30 迅速な学校トイレの洋式化

いつまでも住み続けたいまち 小平

- 1 基幹系住民情報システム8業務のクラウド化によるコスト圧縮の推進と、現在対象に漏れている住民情報システムや、その他の共同化対象外となっている6システムのクラウド化の検討
- 2 公共施設マネジメントとしての電柱、電線、下水道等の社会インフラの基本計画の見直し
- 3 人の行動や心理を分析する行動経済学の知見を生かす「ナッジ」と呼ばれる手法を市政に取り入れる
- 4 必要な部署への増員も視野に入れた職員数の検証と適正配置の実施
- 5 ICTの利活用(AI、RPAの導入)による業務時間の短縮
- 6 オストメイトトイレの増設と前広便座の必要施設からの優先設置
- 7 投票行動の利便性の向上のため期日前投票の会場の拡充(市民文化会館、市民総合体育館)及び日程の拡充
- 8 全ての窓付き封筒の窓をセロファンから紙への変更
- 9 市民サービス向上の為、総合窓口サービスの機能強化
- 10 各種証明書のコンビニエンスストアでの交付実施への計画の策定
- 11 ふるさと納税による税の流出防止策として体験農園、収穫体験、郵便局の見守りサービス等の魅力ある返礼品の実施
- 12 多面的な課題に対応する(断らない窓口)総合的な相談支援体制の構築
- 13 市内事業者との男女共同参画協議会の設置
- 14 女性相談室の充実のため人員増(人件費増)など体制強化
- 15 地域センター等の公共施設予約システムでの予約の実施
- 16 地域課題の解決を地域独自の大学連携で実施(せいぶ通り×嘉悦大学、鷹の台×武蔵野美術大学)
- 17 えるぼし認定企業増の目標値設定とセミナー等の開催

- 18 人的配置を含めた女性活躍を総合的に支援する女性センターの設置
- 19 商店街サポーター制度のモデル地区実施
- 20 商店街と連携した買い物バスの運行による、コミュニティ醸成と交通不便地域の解消
- 21 庁用マイクロバスの積極的活用による市内施設のミニツアーの実施
- 22 東部公園プール内施設の通年活用
- 23 新五千円札に採用予定の津田梅子女史をアピールするための津田塾大学との連携と観光施策への活用
- 24 予防接種の医学的情報、副反応の対応・相談体制の周知
- 25 ロタウイルス、おたふくかぜ予防接種への費用助成
- 26 風疹の免疫をもたない30代から50代の男性や妊娠を望む女性及び同居者への予防接種勧奨と、民間企業等への周知徹底による接種推進
- 27 勧奨中止で子宮頸がんのリスクにさらされている女性への積極的情報提供、特に対象年齢でなくなる高校3年生の女子への通知の実施
- 28 希望する中学3年生を対象としたインフルエンザ予防接種の費用助成
- 29 こだいら健康ポイント事業の継続実施と介護予防ボランティアポイントとの連携
- 30 検診項目の充実(HPV検診・ピロリ菌検査等)
- 31 がん検診受診率の飛躍的向上につながる、電話による個別勧奨・再勧奨(コール・リコール)の推進
- 32 認知症早期発見の為の相談体制の強化と医療・介護・地域の連携の具体的推進
- 33 口腔ケア、誤嚥防止を含めた、こだいらフレイルチェックの実施
- 34 高齢者世帯への外出支援として福祉タクシーチケットの配布と移動支援を含めた公共交通の再構築
- 35 事業者や各種団体との見守り協定の締結数拡大と連絡ネットワークの充実

- 36 24時間365日対応可能な高齢者、障がい者等の見守りホットラインの構築
- 37 高齢者・障がい者・妊産婦の外出支援のためデマンドタクシーの導入の検討
- 38 図書館の宅配サービスが一般高齢者等も利用できるように要件の緩和を
- 39 生活保護受給者の自立支援のため、ケースワーカー、自立支援員のスキル向上と支援体制の強化
- 40 商店街空き店舗活用のため、家賃補助制度の対象と枠、補助額の拡大
- 41 地域包括ケアシステムの構築に即した地域の居場所づくりと拡充
- 42 福祉的観点から空き家、空室の活用や住宅困窮者とのマッチングをになう居住支援協議会の設置
- 43 一般不妊検査への費用助成
- 44 「見守りタグ」など民間事業者のサービスやアプリ、ツールを活用した高齢者見守りの輪の拡大
- 45 児童発達支援センターの機能の明確化
- 46 グリーンロードへのフットライトの設置範囲の拡充
- 47 駅周辺地域、通学路等へのタバコのポイ捨て・路上喫煙の禁止モデル地区を設定する小平ルール of 制定と条例化
- 48 食品ロス削減の意識啓発並びにドギーバッグの普及活動の推進と小平ルール of 策定
- 49 容器包装プラスチック回収についての無料化の検討
- 50 民間事業者への過剰包装廃止の呼びかけと回収品目の拡大
- 51 公共施設への壁面緑化の推進
- 52 公共施設照明機器のLED化の交換の加速化
- 53 市のイベントなどを活用した犬猫(里親)譲渡会の開催

- 54 市内の公園内の公園灯のLED化の加速化
- 55 防災公園など特色ある公園の整備の加速化と包括管理の検討
- 56 花小金井駅周辺への桜の植樹
- 57 通路を含む五小前公園の再整備
- 58 公園内への健康遊具の整備と分かりやすい使用方法の掲示
- 59 緑の創出など目的を絞ったガバメントクラウドファンディング等、具体的事業の立案と実施
- 60 太陽光発電モニター助成の補助の拡充
- 61 玉川上水緑道や公園への防犯カメラの設置
- 62 食物資源化事業の拡充
- 63 鷹の台公園の整備に関する市民意見交換会の早期実施と積極的な暫定利用の推進
- 64 食品ロス削除についてSDGs未来都市選定に資する取り組みの実施
- 65 コンビニエンスストア(セブンイレブン)によるペットボトル回収事業の実施
- 66 使用済み紙おむつの再資源化
- 67 リサイクルセンター東側に整備予定の市民広場にバイオトイレの設置
- 68 チャレンジ計画と共に、無電柱化にむけた推進計画の策定と具体的推進
- 69 (仮称)小平市自転車安全利用条例を制定し、自転車の安全で適正な利用について市民等への啓発強化と自転車事故に備えた保険加入の推進強化
- 70 花小金井二丁目住宅、武蔵野団地等のU字構をL字構に改修
- 71 市道第D-75号線、市道第D-77号線、市道第D-258号線、東京街道、あかしあ通り、一ツ橋通りを桜並木に

- 72 野中通り・東たかの道・B-53号線・B-193号線の整備
- 73 花小金井駅周辺小金井街道以西の自転車駐車場の整備
- 74 一橋学園駅の北口及び南口に車両乗降場所や歩行者を守る信号機の設置等の交通安全対策の推進
- 75 国分寺市との提携で、ぶんバスの上水南町公民館までの延伸
- 76 市役所西通り国立精神・神経医療研究センター正門の北側にある踏切付近の信号機を押しボタン式から通常の信号機への変更
- 77 府中街道の八坂交差点前の歩行者信号機の青信号時間延長
- 78 たかの台交差点に歩行者用信号機の設置
- 79 たかの台交差点南、水車通りに右折時の時差式信号機の設置
- 80 狭隘な歩道の拡幅及び無電柱化の推進（たかの街道、たかの台本通り、学園中央通り、国交大通り、回田道、回田本通り、緑川通り、市役所西通り、せいぶ通り、美大通りなど）
- 81 小平駅北口再開発事業に、広く市民意見を反映する機能の構築
- 82 開かずの踏切含む踏切対策として、速攻対策と抜本対策の検討と具体的な提示
- 83 都市計画道路小平3・4・19号線、3・4・10号線の早期推進と予定線周辺への事業内容の周知
- 84 音声信号とエスコートゾーンを必要箇所への設置
- 85 インターロッキング歩道破損の必要箇所に型押しアスファルト舗装の採用
- 86 交通不便地域解消のため、デマンド交通の実施
- 87 総合的な公共交通体系再構築の工程表の作成

